

2006年3月15日

茂里町営業所所在地で複合ビルを建設、悲願の茂里町開発計画に着手

長崎自動車株式会社

長崎自動車株式会社（本社：長崎県長崎市、代表取締役社長：上田恵三）は、現在路線バスのターミナルとなっている茂里町営業所において、アミューズメント施設等からなる複合ビルを建設する「茂里町開発計画」を推進いたします。

本計画は、昭和50年代より約30年の長期にわたり種々研究・検討を重ねてきた悲願ともいえるべきプロジェクトであり、バブル崩壊による経済の低迷等により開発の推進が停滞しておりましたが、会社設立70周年の節目の年（2006年）に社内外の環境が整ってきたことから、2006年秋の建設工事着工、2008年春の施設開業を目指して着手するものです。

本計画は、長崎の中心市街地における交通至便な立地を生かし、長崎で初めてとなる観覧車・本格的商業モールや、アミューズメント施設等からなる複合ビルを建設するもので、長崎中心市街地における新たな観光資源の創出、長崎経済の活性化に寄与する施設となることを目指して参ります。

計画の推進にあたりましては、「社会・地域との共存共生」「企業アイデンティティの発揮」を開発コンセプトとし、長崎の観光・文化への貢献、地元商業との調和を図り、地域の皆様に愛される魅力ある施設作りに取り組んで参ります。

なお、開発コンセプトを確実に具現化するため、長崎自動車を中心として設立する新会社「株式会社みらい長崎（仮称）」が施設運営を行う予定としております。

<茂里町開発計画概要>

- 所在地 長崎県長崎市茂里町1番地59
- 敷地面積 約16,166㎡
- 建物規模 地下1階地上8階建
- 延床面積 約80,000㎡
- 施設開業 2008年（平成20年）春 予定
- お問い合わせ先 長崎自動車株式会社 茂里町開発準備室